

21世紀 新たな出発に向けて

新年あけましておめでとうございます。

新世紀を迎えるにあたり、心より日頃のご支援・ご協力に感謝申し上げます。また、昨年の衆議院議員選挙におきまして、絶大なるご支援を賜りましたことを、衷心より御礼申し上げます。

依然として明るい兆しが見えない経済不況と、少子高齢化問題、激動する東アジア情勢など、わが国を取り巻く内外の環境は大変厳しい状況にあります。一方で、中央政界は混迷の度を深めております。

このような中で、21世紀の日本の政治を決定付ける重要な参議院議員選挙を迎えようとしております。

我々民社協会は、こうした厳しい情勢の中において、第三期とも言うべき新たな出発を図ろうと懸命に努力を重ねているところであります。健全な政治勢力を伸ばし、内外から信頼される議会政治を確立するため、その先導的役割を果たしてまいり所存です。

皆様の一層のご奮闘を祈念し、民社協会へのご支援・ご協力を切にお願い申し上げます。

平成13年元旦

民社協会

会長 米沢 隆

他役員一同

国政・参院選情報

民主党は12月1日と7日の常任幹事会で、平成13年夏に行われる第19回参院選の選挙区選挙の公認候補者を追加し、協会所属の今泉昭氏（現職・元友愛会会長）の千葉県選挙区での公認を決めた。今泉候補は平成7年参院選では比例代表区で当選を果たし現職一期目。これで民社・友愛系候補は、比例区が池口修次（新・自動車総連副会長）、藤原正司（新・電力総連副会長）、柳沢光美（新・ゼンセン同

盟中央執行委員）の3氏、選挙区では今泉氏をはじめ平田健二（現・岐阜県）、石田美栄（現・岡山県）の3氏となった。次期参議院選挙は定数削減とともに、比例の選挙制度が非拘束名簿方式（各党の議席は候補者名あるいは政党名の合計数によりドント方式で配分。当選順位は名簿登載者の獲得票数で決まる）に改正された。これにともない協会でも所属候補の当選を目指し、友愛連絡会・地方協会などと連携し、全力を挙げて選挙戦を行っていく構えだ。